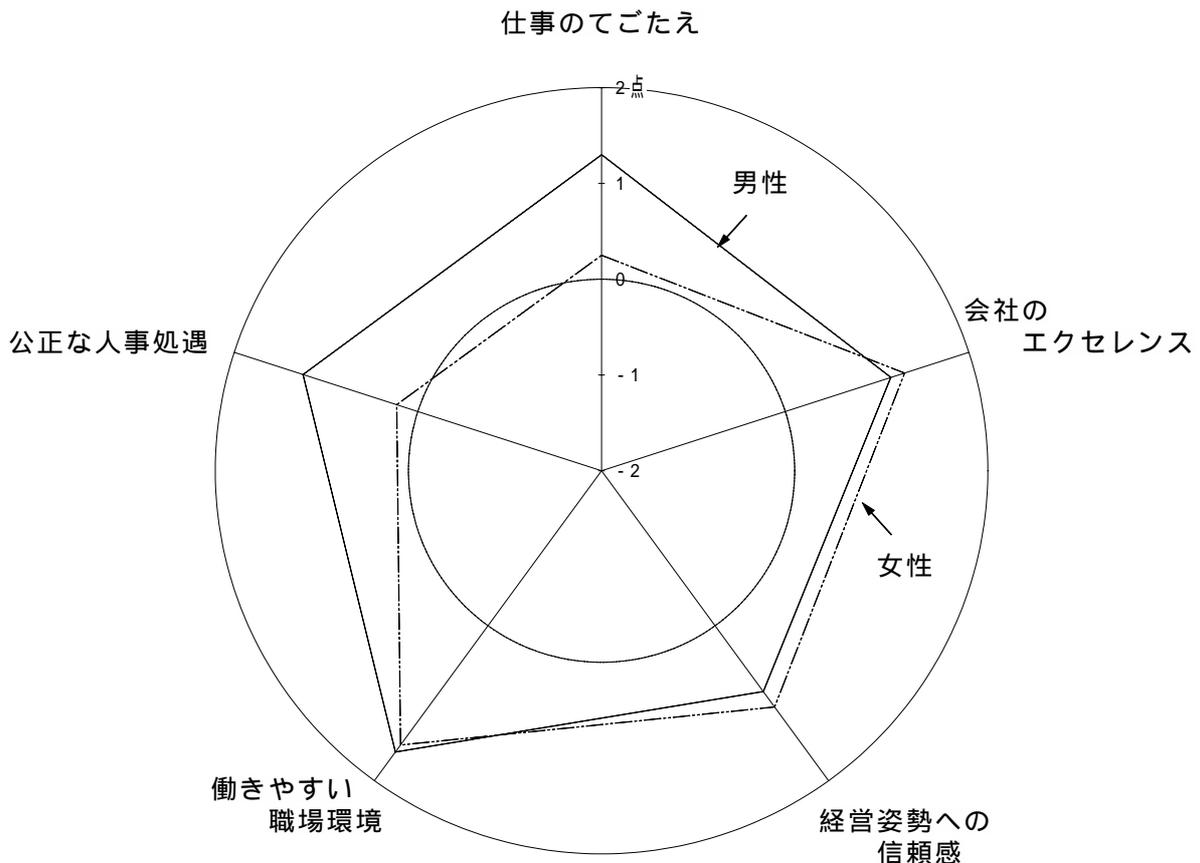


図-1「カテゴリーによる性別比較」



男女とも5つの側面全てについて得点はプラスとなっており、現状について特に強い不満はないようです。

しかし、「仕事のごたえ」「公正な人事処遇」に関しては「男性」の得点が「女性」の得点を大きく上回っており、男性の満足度が非常に高くなっています。

「会社のエクセレンス」「経営姿勢への信頼感」の2つに関しては、共に「女性」の得点が「男性」の得点を上回っており、女性からの評価の方が高いことがわかります。

「働きやすい職場環境」については、男女の評価にはほとんど差はありませんでした。

この全体結果からみると、男女の間に仕事の配分や役割分担についてかなり明確な区別があり、それに伴う処遇上の格差があることが想定されます。「会社のエクセレンス」「経営姿勢への信頼感」については、女性の方が肯定的姿勢が強く、「働きやすい職場環境」については両者間にほとんど差が見られないことから、男女の役割分担や仕事の配分に対する違いが、会社への評価や日常の職場での人間関係などに影響を及ぼしているとはいえないようです。

ただ、「仕事のごたえ」「公正な人事処遇」の両者間のギャップはかなり大きいものがあり、男性は総合職、女性は一般職という現在の人事制度については根本的に見直すべき時期がきているのではないかと考えられます。

図-2「仕事のごたえ」（性別比較）

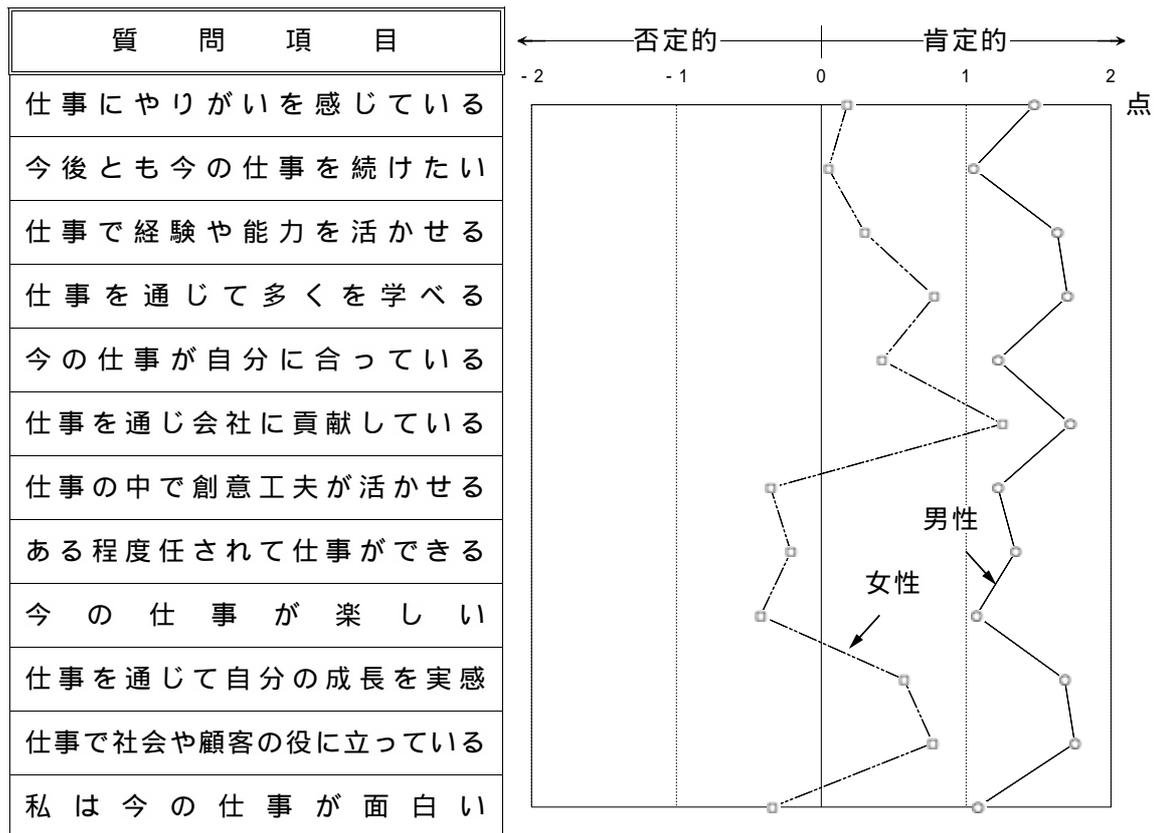


図 - 2 は男女間で差の大きかった「仕事のごたえ」について、カテゴリーを構成している12の設問への回答結果を性別で比較したものです。

「男性」では全ての項目に関して肯定的受けとめ方をしている社員が多くなっているのに対して、「女性」の場合は「今の仕事が楽しい」「今の仕事が面白い」「ある程度任されて仕事ができる」の3項目については得点がマイナスとなっており、否定的な評価をしている社員の方が多くなっています。

また、男性と比べると全ての項目に関して女性の得点が低く、「仕事のごたえ」に関する両者の差が非常に大きいことが示されています。

「仕事を通じて会社に貢献している」については、男女とも高い得点を示しており、この点については女性もそれなりのごたえを感じているようです。

しかし、「仕事の面白さ」「仕事の楽しさ」に対する両者のギャップは非常に大きいことが目立っており、その要因の一つには「自分の経験や能力を活かせる」「仕事を任される」「創意工夫を活かせる」など、仕事の配分や役割分担に起因すると思われる側面が関連していると考えられ、女性が男性の補助的業務を中心として担当するという従来からの流れを再考すべき時期にきているといえるのではないのでしょうか。